

事務事業 No./名称	□サービス部門 教総-26 教育課題対応事業(小学校) ■支援部門					ザイムスコード及び個別事業名			
						1232	地域の中の学校教育の推進(小学校)		
主管課	教育指導課			関連課		1234	研究・研修促進事業(小学校)		
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	地域に根ざした特色ある学校づくりを目指すとともに、教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図る								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯	・各年5月1日(学校基本調査)					
	児童数	7,897人	7,804人						
運営資源 状況	決算値	3,218千円	4,215千円						
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	3,218千円	4,215千円						
	人員配置数	0.6人	0.6人						
	人件費	6,090千円	5,887千円						
	協働の パートナー	各学校・中体連・中文連・研究会部会他		各学校・中体連・中文連・研究会部会他					
事務事業 運営経費	総事業費	9,308千円	10,102千円						
	市民1人当りの経費	53円	57円						
	対象者1人当りの経費	1,179円	1,294円	※ベンチマーク 平成21年5月1日 学校基本調査より					
	ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	鎌倉市	逗子市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市		
	公立小学校数	16校	5校	35校	18校	28校	23年度	16校	
	公立児童数	9,771人	3,093人	23,924人	13,315人	14,212人	最終年度(24年度)	16校	
	公立学級数	271学級	95学級	713学級	406学級	511学級			
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)							
		・研究テーマの指導方法の改善、小中連携、新教育課程移行に向けて等、今日的課題に対する取組としたい。 ・小学校と中学校との連携をさらに進める必要がある。							
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)							
		・各中学校区において小中連携の取組の充実を図った。 ・小中一貫教育を推進するため、小中一貫教育検討委員会を設置し、基本方針の検討を開始した。 ・学校訪問の際に、校内研究についての意見交換及び助言指導を行った。 ・特色ある学校づくりの取組と連携を進めることができた。							
未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)								
	・小中一貫教育基本方針(案)の作成。なお、小中一貫教育については、新たな事務事業として評価していく必要がある。								
今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)								
	・新教育課程の円滑な実施に向けて指導・助言を行う。								
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	研究校において指導方法の工夫改善、小中連携、新教育課程移行に向けて等、今日的課題を研究テーマとし、その成果を全市的に発信するよう			評価結果	改善の必要性	地域に根ざした特色ある鎌倉の教育を推進するために、今後も学校教育の充実と円滑な学校教育運営に努めたい。		
B	有				B	有			
課長名		教育指導課長 八神陽介			部長・部長名		教育総務部 宮田茂昭		